

修士論文(要旨)

2013年1月

介護老人福祉施設における看護職と介護職の協働について

— 職員の協働に対する満足度調査から —

指導 新野直明 教授

老年学研究科

老年学専攻

211J6005

皆田良子

目 次

- I. はじめに
- II. 研究方法
- III. 結果
- IV. 考察

I. はじめに

介護保険法が制定され、特別養護老人ホームも措置制度から契約利用へと変わり、自立に向けた個別的なケアが推進されるようになった。施設におけるケアは専門職で構成されたチームで行われ、中でも高齢者ケアの中核を担う介護職と看護職の連携・協働は重要である。しかし、両職種間の協働関係は成立しにくい状況が指摘されている。そこで本研究の目的は、介護老人福祉施設における看護職と介護職の協働に関する満足度調査及び自由記述から主観的な側面を主とした協働の実態について検討するとした。

II. 研究方法

対象はA介護老人福祉施設に勤務する看護職員9名介護職員37名で、調査は2012年9月に実施した。調査項目は、最新介護福祉全書「介護技術」⁵⁾を参考にして8項目(食事、排泄、睡眠、清潔、整容、余暇、体調の変化、医療的ケア)選定し、各支援場面における両職種間の協働について満足度を聞いた。分析方法は、データを集計し施設全体の傾向と両職種の傾向をとらえた。倫理的配慮として、調査対象者には本研究の趣旨に基づいて研究への参加は任意であること等を書面によって説明し同意を得た。

III. 結果

調査票の回収率は、介護職78.4%看護職88.9%であった。回答者の属性は、介護職は女性が6割で、看護職は9割であった。施設全体の平均満足度得点の最も高い項目は「医療的ケア」で、最も低い項目は「食事」であった。職種別の平均満足度得点では、介護職の最も高い項目は「医療的ケア」であり、最も低い項目は「食事」であった。看護職の最も高い項目は「睡眠」であり、最も低い項目は「整容」であった。両職種への要望、期待することは、介護職から看護職へは、お互いの意見交換ができる機会を設ける等であり、看護職から介護職へは、お互いの専門性を理解し尊重できればよいと思う等であった。

IV. 考察

両職種共通して満足度の高い項目は、「体調の変化」であった。施設の高齢者は、疾病を抱えながら生活をしているため、両職種の専門性を発揮しながら協働を進めていくことが重要である⁶⁾。共通して満足度の低かった項目は「食事」であった。日常生活支援は、両職種とも「看護も介護も基本的に同じ」と認識しており、看護職の方から情報を共有する努力を行う必要があるとの指摘⁷⁾もあることから、看護職からの歩み寄りが協働の促進につながるのではないかと考える。看護職の満足度が高く、介護職の満足度の低かった項目は「余暇」であった。看護職は健康管理・医療的業務の役割をもち、介護職は生活援助業務を主たる役割としている⁸⁾ことから、看護職は観察重視の参加の仕方をしている可能性があり、満足度の差に表れたと考える。介護職の満足度が高く、看護職の満足度の低かった項目は「医療的ケア」であった。入居者の健康状態について、両職種の判断や状態の捉え方にずれがある³⁾との指摘があり低い結果につながったと考える。自由記述の内容から、両職種とも専門性の理解不足と日頃のコミュニケーション不足を感じている。今後、協働関係を発展させていくためには、お互いを尊重し合うこと、話し合いの場を積極的に設けることが重要であることが示唆された。

参考文献

- 1) 「高齢化の推移と将来設計(1950～2055)」『平成 23 年度版厚生白書』2011 年
- 2) 柴田(田上)明日香他「高齢者の介護施設における看護職・介護職の連携・協働に関する認識」『老年看護学』 17(2), p116～126, 2003 年
- 3) 野崎玲子「看護職と介護職の協働・連携上のジレンマ」『介護福祉』7(2), 57-67, 2007 年
- 4) 二木はま子「特別養護老人ホームにおける介護職との連携・協働を円滑にする看護職の認識と行動」『飯田女子短期大学紀要』 27, 41-55, 2010 年
- 5) 安田真美他「看護・介護の専門性と協働に関する研究」『聖隷クリストファー大学看護学部紀要』 12, p89～97, 2004 年
- 6) 坪井桂子他「ユニットケアに取り組む特別養護老人ホームの看護職と介護職の協働と教育」『岡山大学医学部保健学科紀要』 15:51-62, 2005 年
- 7) 鎌田ケイ子他「看護と介護の連携に関する調査結果」『老人ケア研究』24, p6～14, 2006 年
- 8) 高崎絹子他編「最新介護福祉全書 15 介護技術」『メヂカルフレンド社』 2005 年
- 9) 杉山せつ子他「特別養護老人ホームにおける看護の実態調査 -S 県下特別養護老人ホームの看護職と寮母職の協力・連携-」『看護展望』 27(12), 1392-1395, 2002 年
- 10) 「特別養護老人ホームにおける待機者の実態に関する調査研究事業 ～待機者のニーズと入所決定のあり方等に関する研究～」平成 23 年度老人保健健康増進等事業報告書
- 11) 「2015 年の高齢者介護 ～高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて～」『高齢者介護研究会報告書』 2003 年
- 12) 田村由美他「今、世界が向かうインタープロフェッショナル・ワークとは -21 世紀型ヘルスケアのための専門職間連携への道- 第 1 部:Inter professional とは何か -Rawson,D. の概念モデル-」『Quality Nursing』 4(12), 1032-1040, 1998 年
- 13) 小林たつ子他「看護職と介護職の連携に関する調査報告書 -結果の概要と考察」『コミュニティケア』 12(9), p53-59, 2010 年
- 14) 吉池毅志他「保健医療福祉領域における「連携」の基本的概念整理 -精神保健福祉実践における「連携」に着目して-」『桃山学院大学総合研究所紀要』 34(3)p109-122 , 2009 年
- 15) 井上千津子「生活支援のための看護と介護の連携」『京都女子大学生生活福祉学科紀要』 3, 2007 年
- 16) 長谷川浩子「特別養護老人ホームにおける看護職者の役割に関する文献検討」『日本赤十字広島看護大学紀要』 4, p29-36 , 2004 年

- 17) 吉岡なみ子「療養病床における看護職と介護職の協働 ―当事者の認識と評価―」
『PROCEEDINGS 16』 p53-62, 2011 年
- 18) 田中智恵美「看護職・介護職種間の思いと職場環境への期待」『第 29 回 長野県看護
研究学会論文集』 p49-51, 2008 年
- 19) 坪井桂子他「特別養護老人ホームで働く看護職の研修会を通しての「連携・協働」に関
する学びの分析」『岐阜県立看護大学紀要』 7(2), 73-80, 2007 年
- 20) 島田久代「F 病院における看護と介護の連携の実態における考察 ―アンケート調査によ
る意識調査の結果をふまえて―」『松本短期大学紀要』 129-144, 2008 年
- 21) 中村房代他「介護老人保健施設における専門職種間連携」『東海大学健康科学部紀
要』 10, p39-47, 2004 年
- 22) 根岸茂登美「高齢社会における保健医療福祉専門職の連携 ―Inter - Professional
Work に焦点をあてて―」『東海大学健康科学部紀要』 5, p89-99, 1999 年
- 23) 野中和代「21 世紀における看護職と介護職の協働の必要性について ―高齢者をケアす
る介護職の現場から―」『看護学統合研究』3(2), p85-88, 2002.
- 24) 吉原悦子他「認知症高齢者グループホーム入居者の健康管理のための看護と介護の協
働」『西南女学院大学紀要』 13, 9-19, 2009 年
- 25) 佐藤信枝「高齢者の介護業務ストレスに影響する社会的支援による効果 ―老人保健施
設に勤務する看護職・介護職を対象として―」『新潟青陵大学紀要』 1, 47-58, 2001 年
- 26) 砂川政美「看護と介護の協働の実際」『Jpn.J.Leprosy』 77, 41-44, 2008 年
- 27) 浜砂貴美子「看護と介護の力」『第 42 回日本老年医学会誌』 37, 790-792, 2000 年
- 28) 表志津子他「看護職と介護職間におけるケアの協働 ―老人保健施設における褥創ケア
の現状から―」『北陵学院短期大学紀要』 32, 229-235, 2000 年
- 29) 吉田伸子「特別養護老人ホームの寮母、生活指導員、看護婦の本務意識よりみた協働
構造」『千葉大学看護学部紀要』 15, 99-109, 1993 年
- 30) 三橋弘次「介護老人福祉施設における介護職と看護職の連携・協働という問題 ―
「職業分化」という視点からの一考察―」『立正大学文学部論叢』 133, 25-45, 2011 年
- 31) 佐野貴俊「介護職の組織的独立と看護との協働の模索」『看護学雑誌』 72(6), 76-481,
2008 年
- 32) 川添チエミ「看護職と介護職 お互いをどう見ているのか ―「看護と介護の連携に関する
アンケート」調査結果から見る実態―」『看護学雑誌』 72(6), 464-470, 2008 年
- 33) 三井さよ「「思い」を介した協働 ―特養 A における介護職と看護職のかかわりを通して―」『社
会学研究会編』 53(1), 91-107, 2008 年